



## クリスマス会・幼稚園保育園・ご自宅に サンタクロースを呼びませんか？

プロのサンタクロースが、プレゼントを持って、お伺いします！  
（※ボランティアも募集中です！）

### ■広島市内：

日時：12月24日の17時～20時

サンタがご家庭を個別に訪問し、当団体で準備したプレゼントと親御さんからのメッセージを子どもたちに届けます。また、12月に実施されるクリスマス会（幼保で実施するものを含む）などへサンタクロースを派遣（プレゼントは当団体で用意します）することも可能です。

### ■広島市外：

12月に行われるクリスマス会（幼保で実施するものを含む）にサンタクロースを派遣し、子どもたちにプレゼント（当団体で準備）と楽しいひと時をプレゼントします。広島市に隣接する地域で、まとまったエリアで一定数（3家庭以上）集まれば、クリスマスイブ当日のご自宅訪問も検討いたします。

また、サンタクロースからの手紙（親御さんが内容のカスタマイズ可）が届くプランもご利用可能です。

### ◆実施団体：NPO 法人チャリティーサンタ



クリスマスイブに行うサンタクロース訪問によるチャリティー活動を実施。活動時にいただいた寄付を活用して、困難な状況にある子どもたちの支援活動（被災地支援、貧困家庭の児童支援、途上国支援等）をしているNPO法人です。全国に34支部があり、広島支部は2014年に設立されました。

◆申込み先：<http://bit.ly/2PVkmcv>

◆問い合わせ先

NPO 法人チャリティーサンタ 理事兼広島支部代表 佐藤亮太  
080-5099-7585 [r.sato@charity-santa.com](mailto:r.sato@charity-santa.com)



申込み用 QR コード

## クリスマス会・幼稚園保育園・自宅にサンタクロースを呼びませんか？

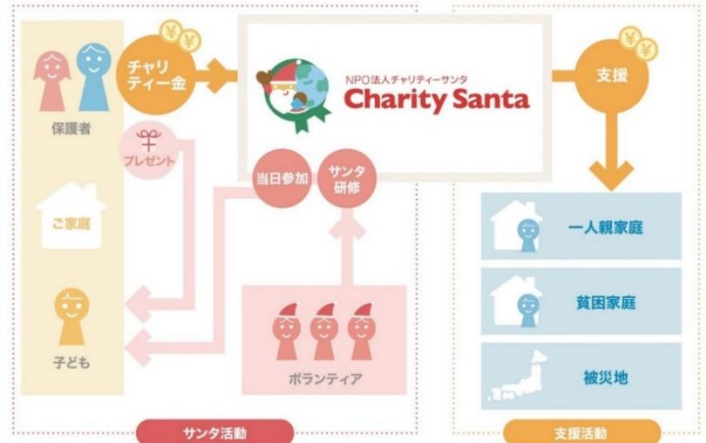
熊本地震や朝倉水害後も、サンタクロースで仮設住宅を含むご自宅や集まり等に訪問し、こちら側で用意したプレゼントや親御さんからのメッセージを子どもたちの届けることで、親子の心のケアをしてきました。

広島でも同様に、研修を受けたボランティア(10月末～募集します！)が、広島市域ではイブ当日のご家庭訪問、それ以外の地域では、クリスマス会等に訪問し、子どもたちに感動をプレゼントしたいと考えています。

### ○団体概要

#### 【NPO 法人チャリティーサンタ】

クリスマスイブに行うサンタクロース訪問によるチャリティー活動を実施。活動時にいただいた寄付を活用して、困難な状況にある子どもたちの支援活動(被災地支援、貧困家庭の児童支援、途上国支援等)をしている NPO 法人です。全国に 34 支部があり、広島支部は 2014 年に設立されました。



### ○サンタが無償で訪問します(被災家庭対象)

子どもにプレゼントする絵本は、昨年から実施している絵本寄付プログラム(BOOK SANTA)を通じて既に確保済です。また、訪問には一切費用はいただきません(被災家庭以外の家庭からの寄付で賄います)。

■広島市内：12月24日の17時～20時の時間で、サンタがご家庭を個別に訪問し、当団体で準備したプレゼントと親御さんからのメッセージを子どもたちに届けます。また、12月に実施されるクリスマス会(幼保で実施するものを含む)などへサンタクロースを派遣(プレゼントは当団体で用意します)することも可能です。

■広島市外：12月に行われるクリスマス会(幼保で実施するものを含む)にサンタクロースを派遣し、子どもたちにプレゼント(当団体で準備)と楽しいひと時をプレゼントします。広島市に隣接する地域で、まとまったエリアで一定数(3家庭以上)集まれば、クリスマスイブ当日のご自宅訪問も検討いたします。また、サンタクロースからの手紙(親御さんが内容のカスタマイズ可)が届くプランもご利用可能です。

### ○ご協力をお願い

- ・サンタクロースを家や集まりに呼びたい、という方々への広報(一緒に取り組めたら尚嬉しいです)。
- ・サンタクロースになってください！(人数が多ければ、それだけ多くの家庭に届けられます)

### ○申込み方法・問い合わせ先

申込先 <http://bit.ly/2PVkmcv>

問合せ：NPO 法人チャリティーサンタ 理事兼広島支部代表 佐藤亮太

080-5099-7585 r.sato@charity-santa.com



申込み用 QR コード

### ※心のケアとサンタクロース(過去の事例から)

災害後の子どもたちの心のケアをする上では、安心感を与える、自己有用感を味わわせる、褒めて自信等を持たせる、などのことが重要とされています。サンタクロースから一年頑張ったことを伝えてもらうことで、自信を持ったり、例年通りの日常に触れ、心のケアにつながる事が考えられます。

また、親の側も、「今年はどこへも遊びに連れて行ってやれなかった」「友達と離れて寂しい思いをさせている」と、自らを責める声も聞こえてきます。熊本や朝倉での実施時は「震災後、心からの笑顔を初めて見た気がする」「親の私たちも頑張ろうと励まされた」等の反応が寄せられており、取組みの意義を感じています。